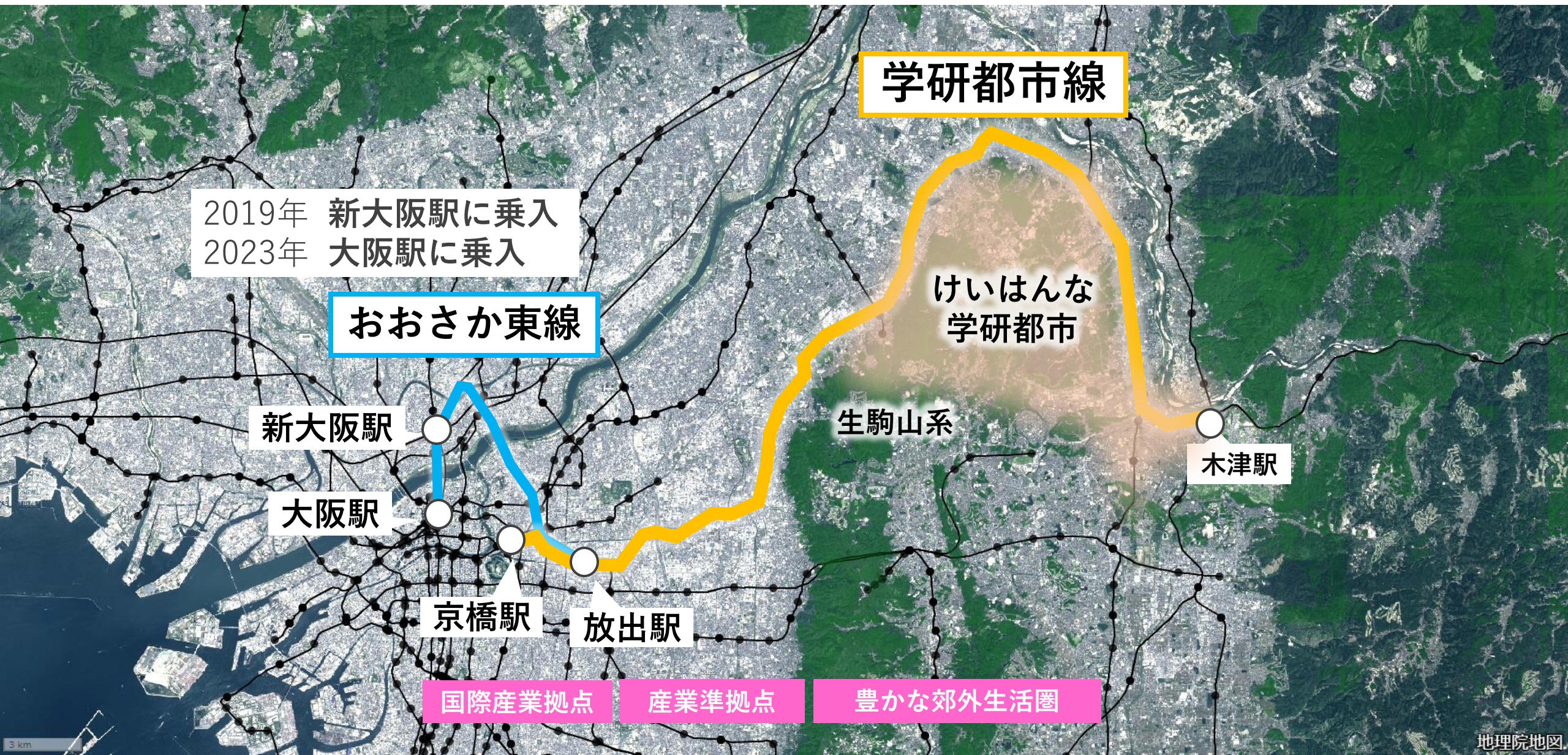


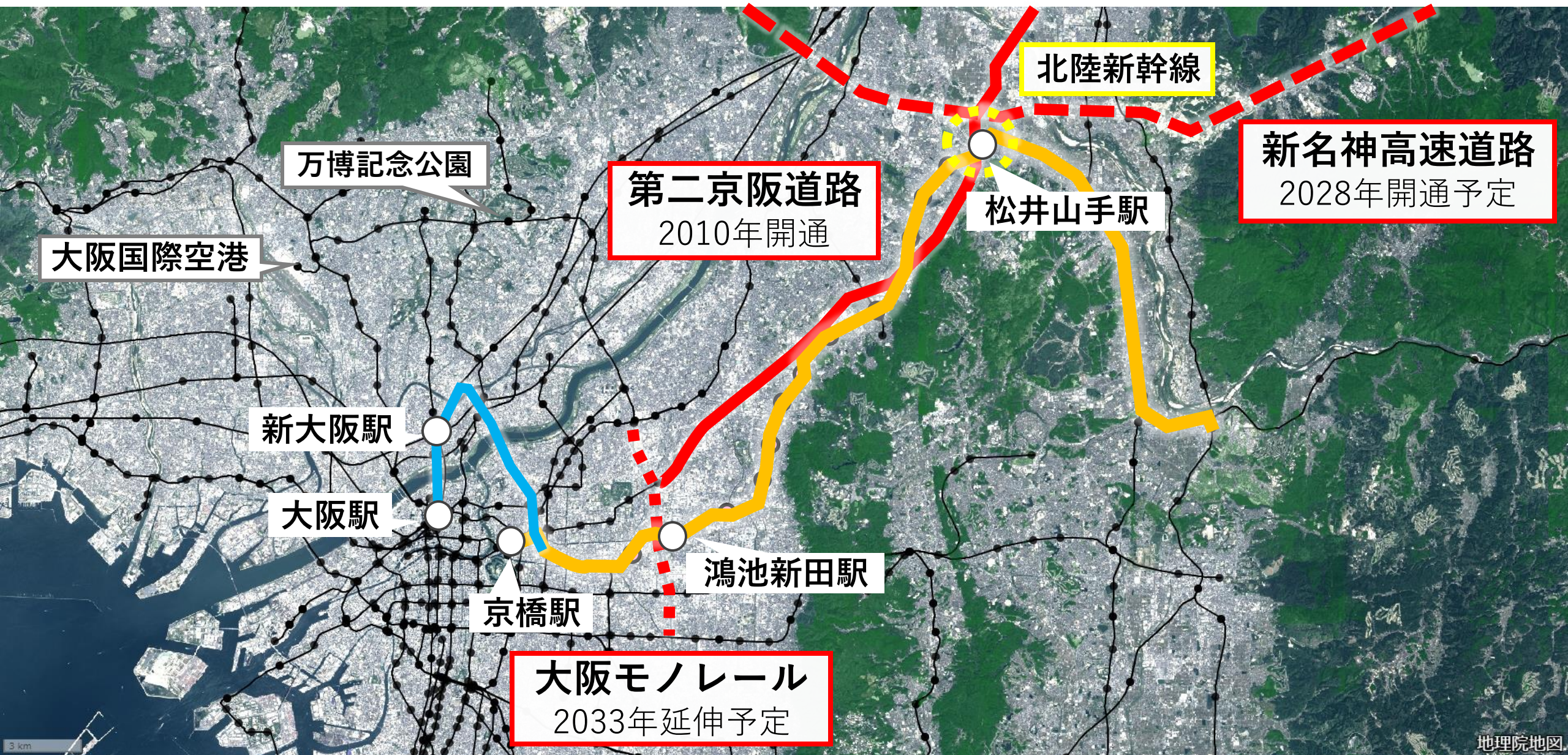
学研都市線沿線まちづくりに関する取組み

2025年2月28日
鉄道沿線まちづくり・駅まちづくり全国会議

西日本旅客鉄道株式会社
地域まちづくり本部

学研都市線の位置図





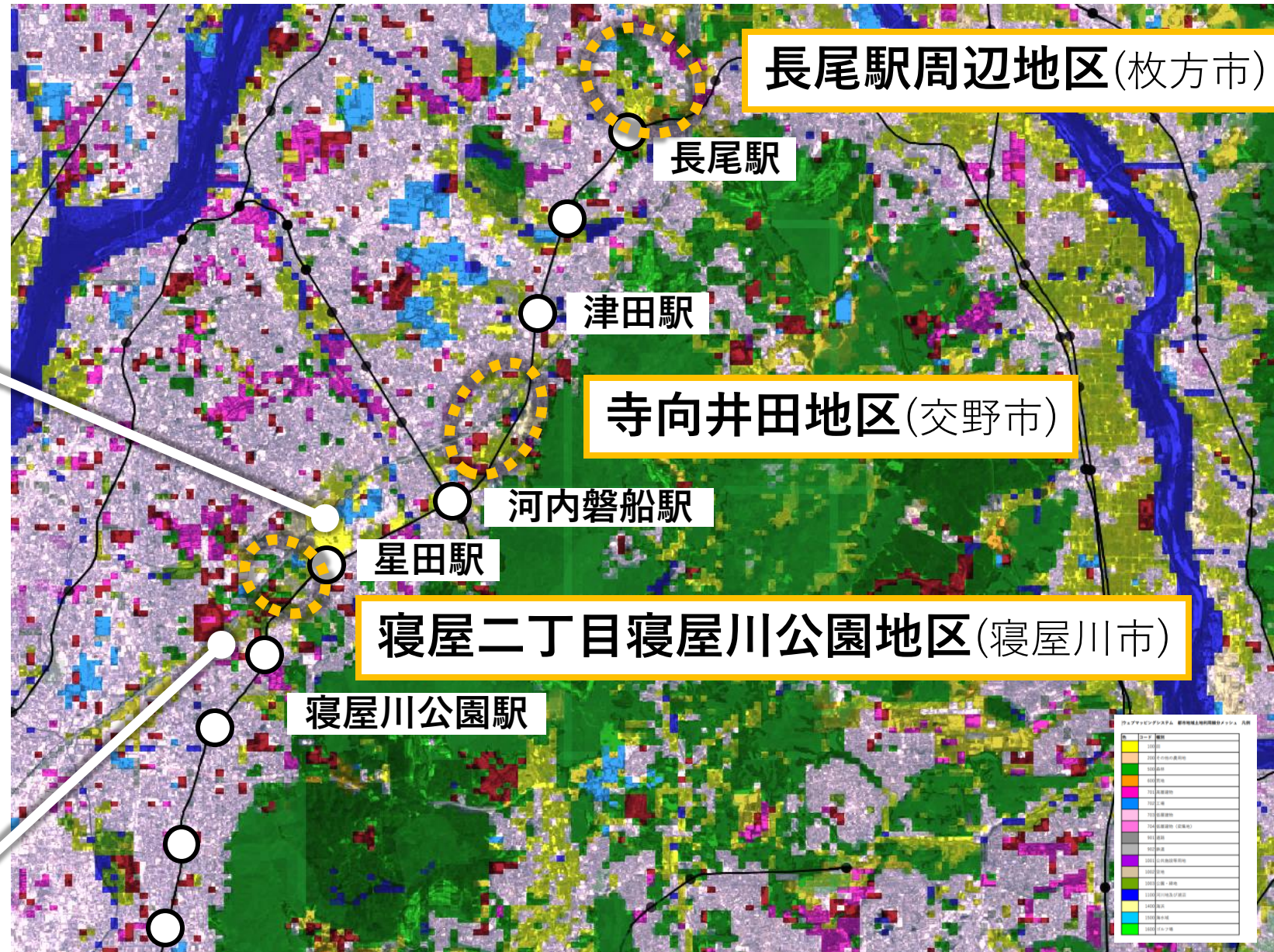
駅周辺の土地区画整理事業



* シェリアンティ 星田駅前HP
https://www.cielia.com/m/hoshida382/special/eco_town.html



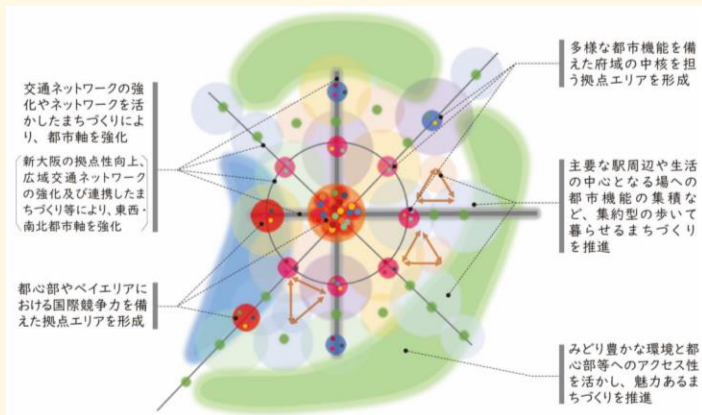
* 寝屋川市HP
<https://www.city.neyagawa.osaka.jp/material/files/group/127/43540124.pdf>



今後も成長余地のあるポテンシャル線区として位置づけ、
様々な分野で多様な主体と連携しながら、沿線の魅力向上に貢献していく

①自治体との連携

学研都市線沿線まちづくり協議会
協議会の活動を通じてゆるやかに
相互理解が深まり、様々な分野で
連携が可能に。



* 大阪府HP
https://www.pref.osaka.lg.jp/o140020/tokuu/shin_gd/index.html

②交通利便性向上

鉄道網

- ・ 2033年頃 大阪モノレール延伸
- ・ 20XX年 北陸新幹線延伸

道路網

- ・ 2028年頃 新名神 全線開通



* 大阪モノレール株式会社HP
<https://www.osaka-monorail.co.jp/know/stretching/>

③駅周辺整備

土地区画整理事業の機運

- ・ 寝屋二丁目寝屋川公園地区
- ・ 寺向井田地区
- ・ 長尾駅周辺地区

駅前広場整備

- ・ 2025年 四条畷駅 整備完了予定



* 大東市HP
<https://www.city.daito.lg.jp/uploaded/attachment/31265.pdf>

- 窓口を一本化し、線区としてトータルでマネジメントする体制を整備
- 地域プレイヤー、地域企業、沿線自治体、大阪府との“共創”が重要
- 学研都市線沿線らしい個性ある豊かな暮らしを共創する長期的なプロジェクト

学研都市線 未来プロジェクト

鉄道・交通

×

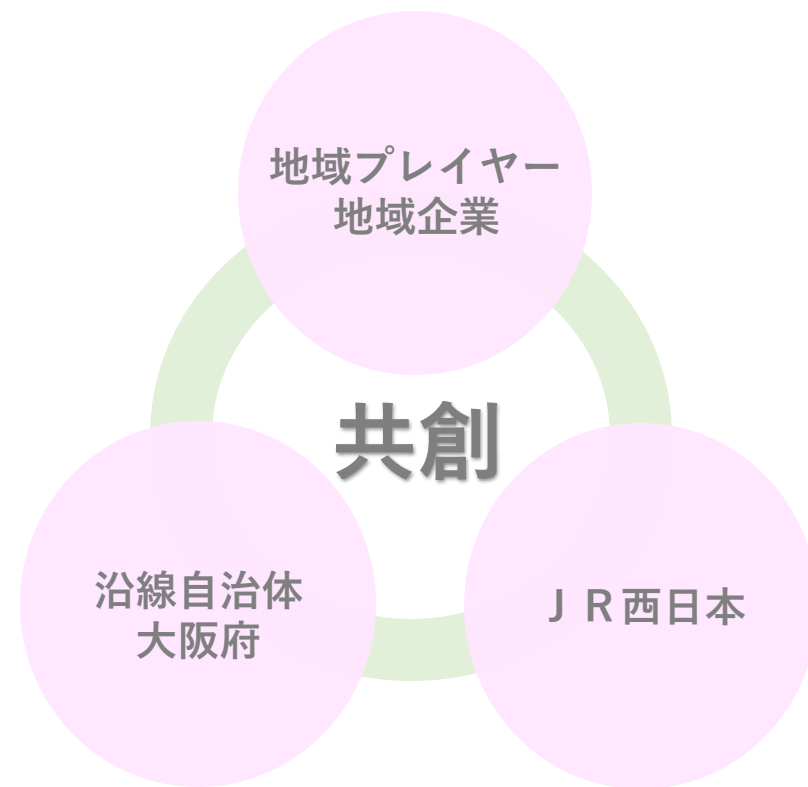
まちづくり

×

地域共生

×

デジタル



共創テーマ例

交通

駅まち

子育て

地域活動

観光

情報発信

産官学連携

学研都市線沿線 まちづくり未来ビジョン



住みたい
まちづくり



働きたい
まちづくり



訪れたい
まちづくり

学研都市線沿線らしい 個性ある豊かな暮らし

イノベーティブ

ウェルビーイング

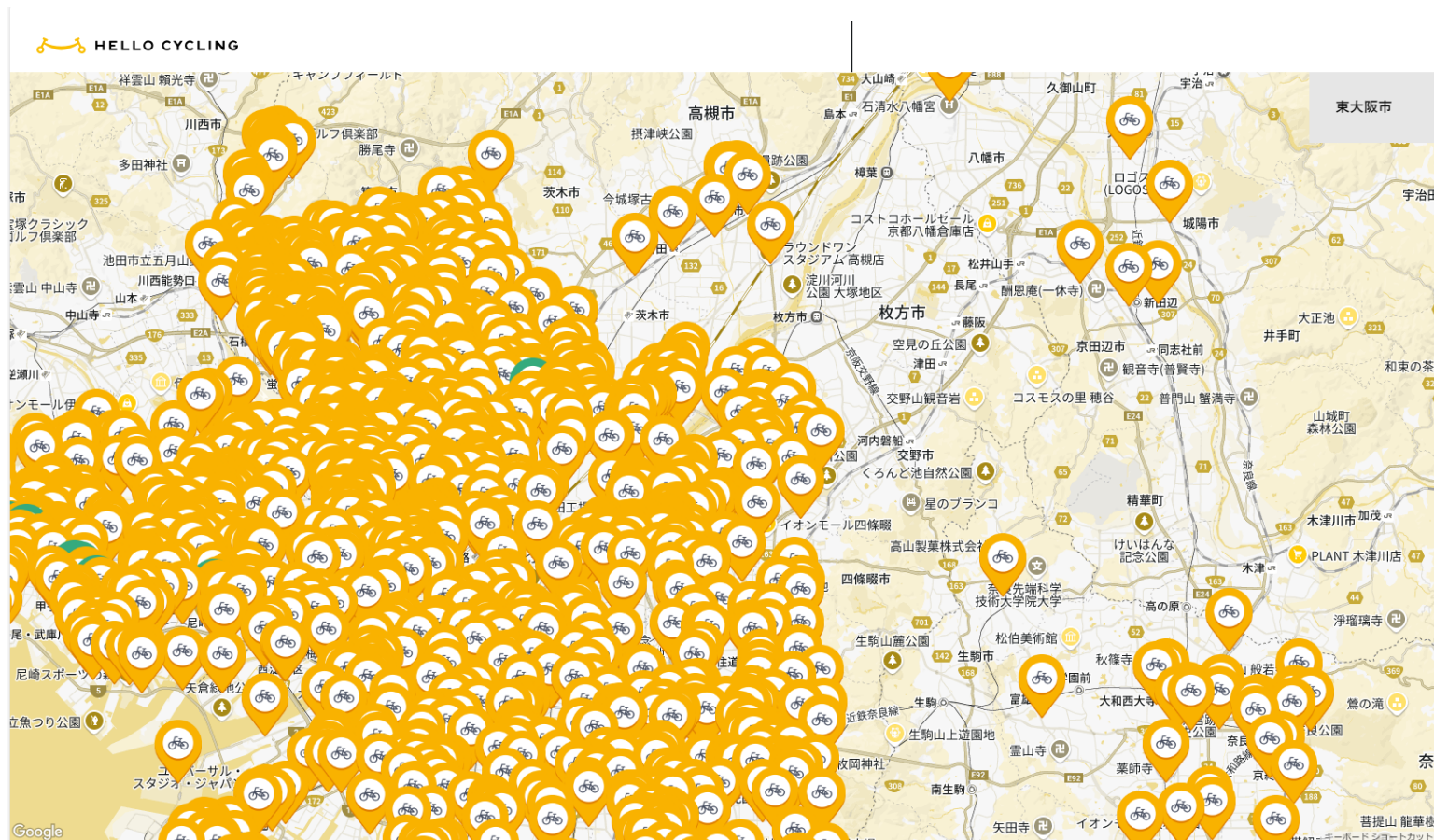
サステナブル

先行的にスモールスタートした具体的アクション



① シェアサイクル

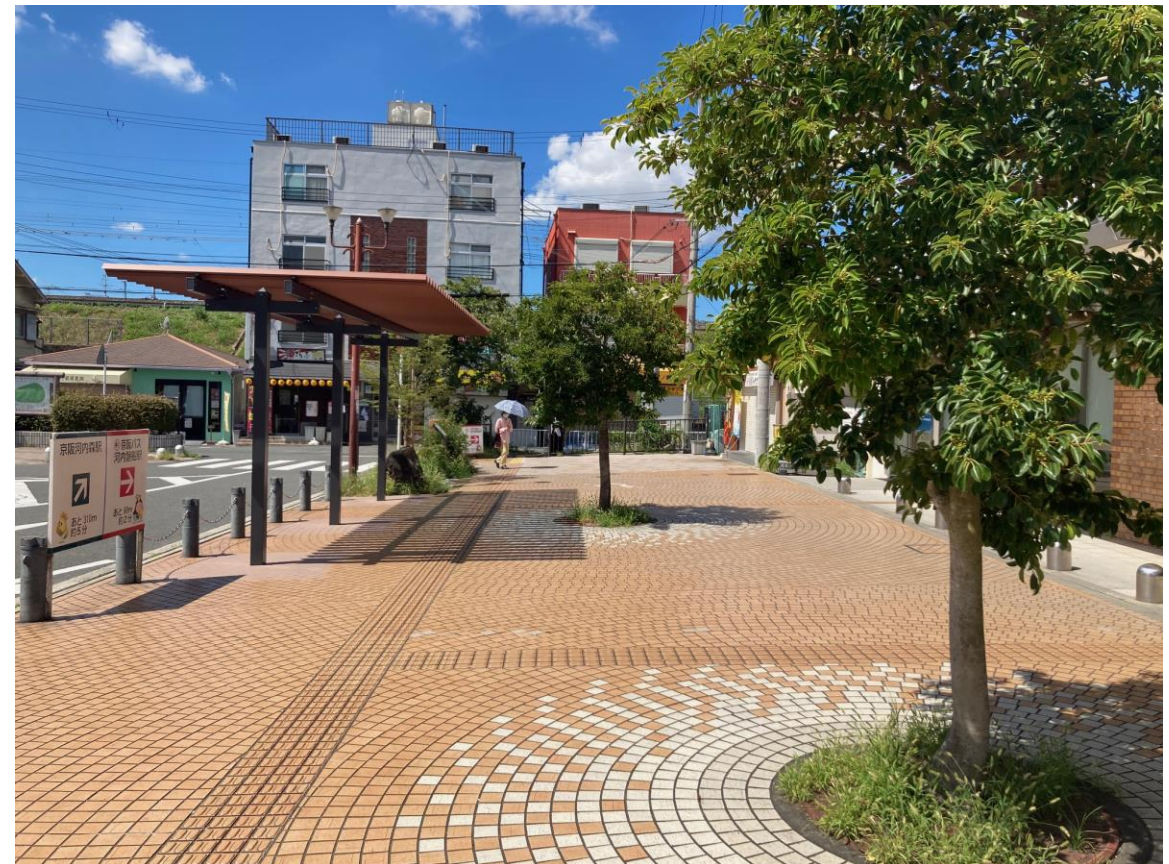
- 人手不足による路線バス等の縮小は全国的な問題であり、地域特性にあった最適なモビリティを組み合わせた持続可能な公共交通の実現が課題
- まずは取り組みやすいシェアサイクルをテーマに勉強会をスタート
沿線6市の取り組みや課題の共有、オープンストリート社による講義などを実施



*HELLO CYCLING HP
https://www.hellocycling.jp/payment/summarize/?utm_campaign=hc_lp&utm_source=hc_lp
<https://www.hellocycling.jp/map/>

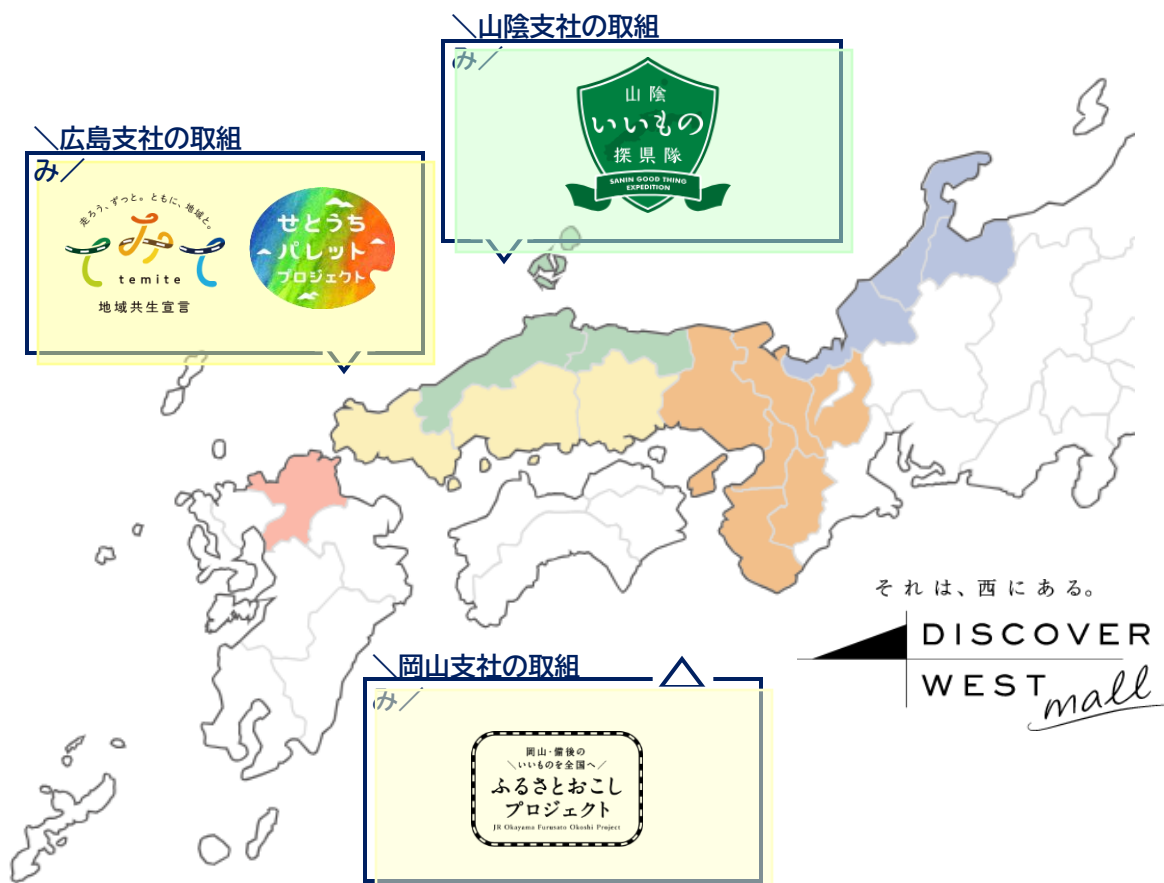
② 駅まち空間の社会実験（河内磐船駅/交野市）

- 交通結節点機能、滞留機能、情報発信機能など多様な機能が求められている駅まち空間
地域プレイヤーのつながり/社会関係資本を構築するフィールドとしても重要
- 地域住民に対する地域の魅力発信、地域プレイヤーがつながるきっかけづくりを企図し、
地域プレイヤー、交野市と連携し、3日間の社会実験としてスモールスタート



③ 地域産品

- 地域の商いや産業が元気であれば、まちなかに多くの魅力的な店舗やコンテンツが生まれ、近くに働く場がある職住近接の暮らしにもつながる
- 地場産業の活性化に貢献すべく、沿線自治体の皆様に地域事業者を紹介いただき、地域産品の魅力を発信するECサイト「DISCOVER WEST MALL」で新たな販路を提供



CONCEPT

旅してみつけた 暮らしてみつけた
こだわりのいいものを西日本からお取り寄せ



〈これまで〉
山野酒造(交野市)「片野桜」のみ

↓
〈現在〉
新たに約20社の事業者と商談中

★学研都市線沿線まちづくりを推進する上でのポイント

- ① 大阪都市計画局が、事務局として協議会運営を担ったこと
- ② 各自治体では、政策企画部局が参画し窓口を担ったこと
- ③ JR西日本では、まちづくり部門が参画し窓口を担ったこと

★体制や支援として期待すること

- ① 大阪都市計画局に、共創テーマの担当部局とのつなぎ役をお願いしたい
- ② 各自治体に、地域に飛び込み地域プレイヤーとの連携を深めていただきたい
- ③ プラットフォーム運営にかかわる補助事業を積極的に活用いただきたい
(官民連携まちなか再生推進事業、地域生活圏形成リーディング事業など)